

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第3章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	商工費		第1節	石巻独自の技術開発や新産業を創出する		()	
	2 目	商工業振興費		(4)	地域を支える商工業の振興を図る		()	
実施計画掲載ページ		P41	中 事 業	自動車関連産業振興推進費				
事業コード		003-001-004-00151	事 業 名	自動車関連産業振興推進事業				
目的及び事業内容		石巻地域における産学官が連携し、自動車関連企業等の有機的なネットワークの形成や関連情報の共有化を図りながら、地域企業の技術力の向上等に努めることにより、自動車関連産業への進出や取引の拡大を促進し、もって石巻地域の自動車関連産業の集積を図る。						
取組実績		<p>1 企業訪問 県内外の自動車関連企業を訪問し、本市の立地環境や各種優遇制度等のPRを行った。 ・訪問件数：延べ7件（うち新規2件、継続5件）</p> <p>2 宮城県企業立地セミナーin Nagoyaへの参加 中部圏に本社を有する企業等を対象としたセミナーに参加し、企業立地ガイドの配付や意見交換を行った。 ・日時：平成30年11月12日（月）午後3時～ ・場所：ホテルナゴヤキャッスル（愛知県名古屋市） ・参加者数：257人（150団体）</p>						
成 果		産学官の連携による自動車関連産業の集積に向け、会員企業の資質向上、企業間連携の構築、取引拡大支援等を行うため、平成18年9月に設立された「石巻地域産学官グループ交流会自動車関連産業集積部会」は、同グループ交流会の部改正の見直しにより、また、石巻地域企業の自動車産業参入のための技術力向上等を目的として設立された「IMプロジェクト」は、市内企業の自動車関連産業への参入が進んだことにより平成29年度の活動をもって解散となった。 本市への自動車関連産業の集積並びに企業立地の促進に向け、企業訪問や「宮城県企業立地セミナーin Nagoya」への参加を行った。						
成果に係る評価		関係する支援機関等と連携を図りながら、自動車関連産業集積に向けたセミナーの実施に努めるとともに、企業訪問活動を行い、本市への自動車関連産業の集積を図っていく。						
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	1,000,000		635,232					635,232

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す																																												
	1 項	商工費		第 節			(1)	迅速な生活・健康支援と福祉・医療の確保																																												
	2 目	商工業振興費		()			(1)	被災者への生活支援																																												
実施計画掲載ページ		P175	中 事 業	消費者行政対策費・消費者行政活性化事業費																																																
事業コード		002-101-003-00358	事 業 名	消費者行政対策事業																																																
目的及び事業内容		消費生活における安全・安心の確保のため、消費生活相談員を配置して消費者被害の未然防止と救済に取り組むほか、自立した消費者の育成を図るため、消費者教育と消費生活に関する啓発を推進する。また、消費者行政の強化を図るため、消費生活相談体制の強化・充実を図っており、消費者被害の防止とともに、市民の消費生活に関する安心確保に努める。																																																		
取組実績		<p>1 ラジオ石巻による啓発 週3回（月・木曜日午後5時15分頃、金曜日午前8時25分頃）、2分程度の放送により悪質商法の手口の紹介や被害防止の注意喚起を行った。</p> <p>2 地元紙「石巻かほく」への記事掲載 毎月第4金曜日、5段1/4スペースにさまざまな消費者被害の事例を掲載し注意喚起を行った。</p> <p>3 消費者講演会等の実施（合計5回） (1)主に高齢者を対象とした弁護士による被害防止講演会 テーマ「各種契約トラブル・相続トラブルについて」（参加人数：23名） (2)石巻北高校1、3年生を対象とした弁護士による消費者教育のための講演会（各学年毎に開催） テーマ「社会で消費者被害にあわないために」（参加人数：計401名） (3)飯野川中学校3年生を対象とした弁護士による消費者教育のための講演会 テーマ「消費者の権利を守るために」（参加人数：32名） (4)橋浦、相川、新田保育所の年長組児童を対象とした市民相談センター職員による金銭学習会 テーマ「お金の使い方と買い物ゲーム」（参加人数：29名）</p> <p>4 出前講座の開催（合計8回） (1)高齢者が巻き込まれやすい事例を盛り込んだ講座を6回開催した。（参加人数：合計196名） (2)一般市民を対象とした講座を2回開催した。（参加人数：合計90名）</p> <p>5 啓発グッズの作成と配布 高齢者等の詐欺被害防止を目的に名入り手ぬぐいを作製し、各地域包括支援センター等へ依頼し配布を行った。（10,000枚）</p>																																																		
成 果		<p>消費生活相談員を配置し、消費者からの相談に迅速かつ適切な対応を行うとともに、情報資料等の提供により消費者への啓発に寄与した。</p> <p>1 平成30年度消費生活相談実績 消費生活相談実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>金融・保険</th> <th>通信・運輸</th> <th>リース・賃貸</th> <th>工事・建築</th> <th>その他</th> <th>相談件数合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>176件</td> <td>132件</td> <td>67件</td> <td>34件</td> <td>719件</td> <td>1,128件</td> </tr> </tbody> </table> <p>処理結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>助言</th> <th>情報提供</th> <th>他の機関紹介</th> <th>斡旋解決</th> <th>斡旋不調</th> <th>処理不能</th> <th>処理不要</th> <th>翌年度繰越</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>772件</td> <td>122件</td> <td>102件</td> <td>124件</td> <td>3件</td> <td>件</td> <td>3件</td> <td>2件</td> <td>1,128件</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 相談件数推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,055件</td> <td>1,053件</td> <td>1,142件</td> <td>1,063件</td> <td>937件</td> <td>1,084件</td> <td>1,128件</td> </tr> </tbody> </table>							金融・保険	通信・運輸	リース・賃貸	工事・建築	その他	相談件数合計	176件	132件	67件	34件	719件	1,128件	助言	情報提供	他の機関紹介	斡旋解決	斡旋不調	処理不能	処理不要	翌年度繰越	合計	772件	122件	102件	124件	3件	件	3件	2件	1,128件	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	1,055件	1,053件	1,142件	1,063件	937件	1,084件	1,128件
金融・保険	通信・運輸	リース・賃貸	工事・建築	その他	相談件数合計																																															
176件	132件	67件	34件	719件	1,128件																																															
助言	情報提供	他の機関紹介	斡旋解決	斡旋不調	処理不能	処理不要	翌年度繰越	合計																																												
772件	122件	102件	124件	3件	件	3件	2件	1,128件																																												
H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																														
1,055件	1,053件	1,142件	1,063件	937件	1,084件	1,128件																																														
成果に係る評価		消費生活相談件数は毎年1,000件を超え、ハガキやメール等による架空請求や利権詐欺等の特殊詐欺の相談が年々増加し、全体相談件数の半数近くを60歳以上の高齢者が占めている。また、平成30年度は多重債務の相談が増えており、50代から60代の年齢層が半数を超えている。消費者被害の未然防止を図るためにも今後も各年齢層に合わせたきめ細かい広報・啓発活動を行うとともに相談業務の質の向上を図り、事業を継続する必要がある。																																																		
（単位：円）																																																				
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																																															
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	13,354,000		11,871,990		1,890,000			9,981,990																																												

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画																																												
	1 項	商工費		第 節																																														
	2 目	商工業振興費		()																																														
実施計画掲載ページ			中 事業	商工業振興対策費																																														
事業コード			事業名	商業団体支援事業																																														
目的及び事業内容		市内における商工業の総合的な発展による地域経済の活性化を図るため、これを担う重要な組織である商工会議所や商工会に対して補助金を交付し、健全な運営を支援する。																																																
取組実績		<p>1 商工業振興対策事業費補助金 3,000,000円 既存産業の振興育成、中心市街地活性化に係る各種事業等に対する石巻商工会議所への補助</p> <p>2 中小企業振興対策事業費補助金 3,000,000円 中小企業相談所における経営改善普及事業（巡回相談、窓口相談等による金融、経営等の指導育成事業）に対する石巻商工会議所への補助</p> <p>3 商工会事業費補助金 22,096,000円 各地域の小規模事業者の経営改善普及事業、一般指導事業に対する各商工会への補助 (1) 石巻市牡鹿稲井商工会 4,228,000円 (2) 石巻かほく商工会 9,268,000円 (3) 河南桃生商工会 8,600,000円 平成28年度に3商工会の補助金算出根拠※を明確にし、平成29年度から5年かけて調整することとしている。 ※会員割単価（会員の指導及び福利厚生等にかかる経費を3商工会の全会員数で按分）と運営費割単価（商工会の運営にかかる経費を3商工会の全職員数で按分）に各商工会の会員数を乗じて算出 商工会議所及び3商工会が経営指導員による巡回指導や窓口相談等を実施することにより、個々の事業者の経営課題に向き合った的確なアドバイスが行われ、地域経済の活性化及び販路開拓支援を図ることができた。</p> <p>※平成30年度の商工会議所・3商工課会員数及び指導件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>石巻 商工会議所</th> <th>牡鹿 稲井商工会</th> <th>石巻 かほく商工会</th> <th>河南 桃生商工会</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度末会員数</td> <td>2,179 人</td> <td>286 人</td> <td>465 人</td> <td>474 人</td> <td>3,404 人</td> </tr> <tr> <td>指導件数</td> <td>5,422 件</td> <td>2,373 件</td> <td>3,241 件</td> <td>2,289 件</td> <td>13,325 件</td> </tr> <tr> <td>巡回指導件数</td> <td>1,936 件</td> <td>921 件</td> <td>1,937 件</td> <td>1,050 件</td> <td>5,844 件</td> </tr> <tr> <td>窓口指導件数</td> <td>2,361 件</td> <td>1,387 件</td> <td>1,171 件</td> <td>1,140 件</td> <td>6,059 件</td> </tr> <tr> <td>集団指導件数</td> <td>788 件</td> <td>0 件</td> <td>26 件</td> <td>70 件</td> <td>884 件</td> </tr> <tr> <td>個別指導件数</td> <td>337 件</td> <td>65 件</td> <td>107 件</td> <td>29 件</td> <td>538 件</td> </tr> </tbody> </table>								石巻 商工会議所	牡鹿 稲井商工会	石巻 かほく商工会	河南 桃生商工会	合計	年度末会員数	2,179 人	286 人	465 人	474 人	3,404 人	指導件数	5,422 件	2,373 件	3,241 件	2,289 件	13,325 件	巡回指導件数	1,936 件	921 件	1,937 件	1,050 件	5,844 件	窓口指導件数	2,361 件	1,387 件	1,171 件	1,140 件	6,059 件	集団指導件数	788 件	0 件	26 件	70 件	884 件	個別指導件数	337 件	65 件	107 件	29 件	538 件
	石巻 商工会議所	牡鹿 稲井商工会	石巻 かほく商工会	河南 桃生商工会	合計																																													
年度末会員数	2,179 人	286 人	465 人	474 人	3,404 人																																													
指導件数	5,422 件	2,373 件	3,241 件	2,289 件	13,325 件																																													
巡回指導件数	1,936 件	921 件	1,937 件	1,050 件	5,844 件																																													
窓口指導件数	2,361 件	1,387 件	1,171 件	1,140 件	6,059 件																																													
集団指導件数	788 件	0 件	26 件	70 件	884 件																																													
個別指導件数	337 件	65 件	107 件	29 件	538 件																																													
成果		<p>商工会議所及び3商工会が経営指導員による巡回指導や窓口相談等を実施することにより、個々の事業者の経営課題に向き合った的確なアドバイスが行われ、地域経済の活性化及び販路開拓支援を図ることができた。</p>																																																
成果に係る評価		<p>中小企業の経営改善普及事業を実施することにより、地域経済の発展や商店街の活性化が図られた。加えて、被災した企業・商店街の復興や復旧には、経営指導員による相談・指導活動等が不可欠であるため、事業を継続する必要がある。 また、商工会議所に対し、商工業振興対策費補助金を交付しているが、既存産業の振興育成は図られている一方、中心市街地活性化に係る事業は物足りなさが感じられるため、効果的な中心市街地の活性化が図れるよう、今後の補助金の活用手段について、商工会議所に対し働きかけを行いながら事業を継続する必要がある。</p>																																																
(単位：円)																																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																															
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																												
	28,100,000	28,096,000				28,096,000																																												

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()																																		
	1 項	商工費		第 7 節	年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する		()																																		
	2 目	商工業振興費		(1)	魅力ある観光地づくりと効率的なPRの推進を図る		()																																		
実施計画掲載ページ			P53	中 事業	商工業振興対策費																																				
事業コード		003-007-001-01052	事業名	商店街再生加速化支援事業																																					
目的及び事業内容		東日本大震災による環境の変化や少子高齢化などの社会問題に対応した持続的、発展的な商店街にしていくため、商店街再生加速化計画の策定や共同施設の整備、研修、イベント等商店街団体等が行う活性化事業に対して補助金を交付する（最大3年間）。																																							
取組実績		<p>平成30年度補助金額 7,474,288円 (立町大通り商店街振興組合 3,042,940円、株式会社街づくりまんぼう 4,431,348円)</p> <p>1 補助実施事業者 立町大通り商店街振興組合 (1) 平成30年度（2年目）取組実績 ア 商店街歩道上へのプリンター設置（75基） イ 金華開運商店街スタンプラリーの企画、実施 (2) 商店街再生加速化支援事業費補助金実績額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金（宮城県）</td> <td>3/6</td> <td>624,393円</td> <td>1,825,764円</td> </tr> <tr> <td>補助金（石巻市）</td> <td>2/6</td> <td>416,262円</td> <td>1,217,176円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>1/6</td> <td>208,132円</td> <td>608,589円</td> </tr> <tr> <td>総事業費合計</td> <td></td> <td>1,248,787円</td> <td>3,651,529円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 補助事業実施事業者 株式会社街づくりまんぼう (1) 平成30年度（1年目）取組実績 ア マンガを活かした街なかの情報発信事業や街なか回遊イベントの企画、実施 イ ブロンズ製のマンガモニュメントの製作、設置（2体） (2) 商店街再生加速化支援事業費補助金実績額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金（宮城県）</td> <td>3/6</td> <td>2,658,808円</td> </tr> <tr> <td>補助金（石巻市）</td> <td>2/6</td> <td>1,772,540円</td> </tr> <tr> <td>自己資金</td> <td>1/6</td> <td>886,270円</td> </tr> <tr> <td>総事業費合計</td> <td></td> <td>5,317,618円</td> </tr> </tbody> </table>								H29	H30	補助金（宮城県）	3/6	624,393円	1,825,764円	補助金（石巻市）	2/6	416,262円	1,217,176円	自己資金	1/6	208,132円	608,589円	総事業費合計		1,248,787円	3,651,529円		H30	補助金（宮城県）	3/6	2,658,808円	補助金（石巻市）	2/6	1,772,540円	自己資金	1/6	886,270円	総事業費合計		5,317,618円
	H29	H30																																							
補助金（宮城県）	3/6	624,393円	1,825,764円																																						
補助金（石巻市）	2/6	416,262円	1,217,176円																																						
自己資金	1/6	208,132円	608,589円																																						
総事業費合計		1,248,787円	3,651,529円																																						
	H30																																								
補助金（宮城県）	3/6	2,658,808円																																							
補助金（石巻市）	2/6	1,772,540円																																							
自己資金	1/6	886,270円																																							
総事業費合計		5,317,618円																																							
成果		<p>※補助金制度の概要 ○補助率…県3/6（市2/6、実施者負担1/6） ○補助限度額…3年間で19,000千円（ハード事業10,000千円、ソフト事業3,000千円×3年） ○補助事業者…商店街振興組合、商業等の活性化事業を行う目的で設立された3セク特定会社等</p> <p>立町大通り商店街振興組合においては、平成29年度に策定した計画に基づき、商店街歩道上にプランター75基を設置し、歩きたくなる商店街を目指した事業展開が図られた。 株式会社街づくりまんぼうにおいては、再生加速化計画（アクションプラン）を策定し、LINEアプリでの情報発信やマンガモニュメントを製作することにより、マンガを活かした街づくりが図られた。</p>																																							
成果に係る評価		<p>立町大通り商店街振興組合においては、平成29年度に策定した事業計画通りに事業を実施することができ、順調な事業展開が図られている。令和元年度が事業計画の最終年度となるため、当該補助金の交付終了後も持続的な商店街活性化事業を行えるよう、過去2年度の事業の成果を効果検証しながら事業を実施していく必要がある。 株式会社街づくりまんぼうにおいては、LINEアプリを活用した情報発信やモニュメントの製作により、マンガを活かした街づくりが実践されたが、街づくり会社として、令和元年度以降は前年度以上に街なかの商店街と連携した事業を実施できるよう市として働きかける必要がある。</p>																																							
(単位：円)																																									
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																						
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																			
	8,900,000	7,474,288	4,484,572			2,989,716																																			

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																					
	1 項	商工費		第 節			()																					
	2 目	商工業振興費		()			()																					
実施計画掲載ページ			中 事 業	物産振興対策費																								
事業コード			事 業 名	物産PR・イベント事業																								
目的及び事業内容		<p>・県外各地で開催されるイベント等の場において、石巻市の観光やイベント等のPRを実施し誘客を図る。</p> <p>・地場産品の紹介や現地での販売により、販路拡大を促進し、地場産業の振興を図る。</p>																										
取組実績		<p>石巻市の特産品のPR及び販売促進を図った。</p> <p>1 観光PR等実施先</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>場所</th> <th>開催日</th> <th>入込数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>谷地どんが祭り(海鮮焼き、缶詰、乾物など)</td> <td>山形県河北町</td> <td>9/15~9/17</td> <td>99,000</td> </tr> <tr> <td>海の市(海鮮焼き、かき鍋、市内物産品等販売)</td> <td>秋田県湯沢市</td> <td>10/27~10/28</td> <td>3,500</td> </tr> <tr> <td>文宝四宝まつり</td> <td>鳥取県鳥取市</td> <td>10/27~10/28</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>ひたちなか市産業交流フェア(石巻やきそば、わかめ、こんぶ等販売)</td> <td>茨城県ひたちなか市</td> <td>11/3~11/4</td> <td>30,000</td> </tr> </tbody> </table>							名称	場所	開催日	入込数(人)	谷地どんが祭り(海鮮焼き、缶詰、乾物など)	山形県河北町	9/15~9/17	99,000	海の市(海鮮焼き、かき鍋、市内物産品等販売)	秋田県湯沢市	10/27~10/28	3,500	文宝四宝まつり	鳥取県鳥取市	10/27~10/28	450	ひたちなか市産業交流フェア(石巻やきそば、わかめ、こんぶ等販売)	茨城県ひたちなか市	11/3~11/4	30,000
名称	場所	開催日	入込数(人)																									
谷地どんが祭り(海鮮焼き、缶詰、乾物など)	山形県河北町	9/15~9/17	99,000																									
海の市(海鮮焼き、かき鍋、市内物産品等販売)	秋田県湯沢市	10/27~10/28	3,500																									
文宝四宝まつり	鳥取県鳥取市	10/27~10/28	450																									
ひたちなか市産業交流フェア(石巻やきそば、わかめ、こんぶ等販売)	茨城県ひたちなか市	11/3~11/4	30,000																									
成 果		<p>観光協会等と連携し、友好都市や姉妹都市等で開催される県外物産展などへの参加を行い、地場産品を広く宣伝し販売促進を行うとともに、イベントにあわせパンフレットの配布や、イベント周知などの観光PRを行い、地域産業の振興を推進した。</p> <p>また、イベントによっては報道機関等とタイアップした宣伝活動を展開できたことから、効果的な観光PRとともに販路の拡大につながり、地域経済の活性化と地場産業の振興が図られた。</p>																										
成果に係る評価		<p>本事業により、地場産品の宣伝による販路拡大の促進と、観光PRを通じ、他地域における石巻市の知名度を向上させることは本市の産業振興にもつながることから、今後も積極的にPR活動を実施し、地域産業の活性化を推進していく。</p> <p>本市の豊富な観光資源を前面に押し出したプロモーションを展開するため、新聞やテレビ等報道機関を媒体とした情報発信に加え、SNS等を活用した広報展開を図り、性別・年代・趣向に合わせた幅広いPR展開が必要である。</p>																										
(単位:円)																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																									
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																						
	3,028,000	2,568,396					2,568,396																					

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 6 章	地域の個性が輝き融和するまち	復興計画	()	
	1 項	商工費		第 1 節	地域の風土に根ざした魅力や資源を守り育てる		()	
	2 目	商工業振興費		(1)	個性ある地域をつくる		()	
実施計画掲載ページ			P 120	中 事 業	物産振興対策費			
事業コード		006-001-001-00155	事 業 名	伝統技術継承支援事業(伝統工芸品支援事業)				
目的及び事業内容		<p>・年次計画を柱に実施される事業活動への支援を行い、地場産業の振興を図る。</p> <p>・後継者に対する技術指導をはじめ、伝統工芸品の販路開拓や、販路の拡大、各種展示会や物産展に参加し、伝統工芸品のPR事業を実施する。</p>						
取組実績		<p>雄勝硯、雄勝石工芸品のPR、販路拡大など振興事業を実施した。</p> <p>1 共同事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品の共同販売・原材料の共同購買 <p>2 共同検査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者へよりよい製品を提供するため、共同販売用製品の検査を実施 2回 ・後継者への指導、商品の検品 <p>3 共同広告事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 統一した広告宣伝の実施 ・雄勝硯パンフレット作成 3,000部 <p>4 伝統的工芸品産業振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種展示会・物産展への参加 ・県外物産展における実演・販売、硯や雄勝石工芸品の展示販売 11回 ・雄勝石を利用したフォトフレームの作成ワークショップ開催 2回 <p>5 教育情報提供事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組合員の技術向上を目的とした技術研修会 2回 						
成 果		<p>需要開拓事業</p> <p>東京都 4回(足立伝統工芸品展、豊島区全国伝統的工芸品展WAZA2019、みちのく いいもん うまいもん、伝統工芸青山スクエア特別展)</p> <p>福島県 1回(第32回ふるさと会津工人まつり)</p> <p>鳥取県 1回(文房四法祭り)</p> <p>熊本県 1回(2018年涼の工芸展)</p> <p>県内 4回(秋保 手・ん・店、宮城県産業技術総合センター「技術のおもちゃ箱展」、第28回 鳴子漆器展、みやぎの手しごと展)</p>						
成果に係る評価		<p>雄勝石産業の振興を図るため組合の事業基盤の強化に努めるとともに、事業承継を円滑に行うために後継者育成を実施し、県内外において雄勝硯や石工芸品等の需要拡大を目的とした展示、販売を行っている。</p> <p>また、県内外での物産展等へ積極的に参加し、雄勝硯パンフレットの配布など販路拡大のPR活動を行ったほか、雄勝石を使用したフォトフレームのワークショップを開催し、手作りの技と伝統文化に接する機会を提供することが出来た。</p> <p>同時に雄勝地区の復興状況と、硯産地としての復旧状況もPRすることが出来た。</p>						
(単位:円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源		
	1,500,000	1,500,000					1,500,000	

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																	
	1 項	商工費		第 節			()																	
	3 目	観光費		()			()																	
実施計画掲載ページ			中 事 業	観光振興対策費																				
事業コード			事 業 名	観光PR事業																				
目的及び事業内容		新鮮な海産物に代表される四季折々の食材や美しい自然など、本市の豊富な観光資源を積極的に情報提供することで、誘客を促進し、観光客の入込数の増加と地域経済の活性化を図る。																						
取組実績		<p>1 観光並びに物産振興を推進している（一社）石巻観光協会に対し、事業費及び運営費の一部を補助し、パンフレットの作成や地域間交流事業など、観光宣伝事業を展開した。</p> <p>2 仙台・宮城【伊達な旅】夏キャンペーン、三陸復興国立公園協会において、県内・県外の関係機関と連携を図り、パンフレットやポスターの作成や、キャラバン等を行い、誘客PRを行った。</p> <p>3 宮城県国際観光テーマ地区推進協議会とともに、台湾での東北旅行推進イベントに参加し、本市のPRを行った。</p> <p>4 石巻～仙台間運行の高速バスへ、マンガ素材のラッピングを行い観光PRを継続実施した。また、H27年度に開始した、ラッピング掲出期間が満了となったことから、新たなラッピングへの張替も行った。</p> <p>5 日和山公園の桜の開花にあわせ観桜期間を設定し、ライトアップ実施や駐車場誘導員の配置など、来園者への対応を行った。 期間：平成30年4月9日～4月17日、入込者数：9,600人</p> <p>6 食彩・感動いしのまき観光推進協議会で、地産地消推進店を紹介する「いしのまき地産地消推進店グルメガイドブック」20,000部を作成した。（79店舗掲載）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>場所</th> <th>開催日</th> <th>入込数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>函館キャラバン</td> <td>函館駅、五稜郭タワー（パンフ配布1,450部）</td> <td>6/20～21</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>日本東北遊楽日2018 だいきぎ東北</td> <td>台湾・台北</td> <td>12/14～16</td> <td>135,000</td> </tr> <tr> <td>大宜味村まつり (焼き牡蠣、さんまのつみれ汁等販売)</td> <td>沖縄県大宜味村</td> <td>1/18～1/20</td> <td>5,234</td> </tr> </tbody> </table>							名称	場所	開催日	入込数（人）	函館キャラバン	函館駅、五稜郭タワー（パンフ配布1,450部）	6/20～21	-	日本東北遊楽日2018 だいきぎ東北	台湾・台北	12/14～16	135,000	大宜味村まつり (焼き牡蠣、さんまのつみれ汁等販売)	沖縄県大宜味村	1/18～1/20	5,234
名称	場所	開催日	入込数（人）																					
函館キャラバン	函館駅、五稜郭タワー（パンフ配布1,450部）	6/20～21	-																					
日本東北遊楽日2018 だいきぎ東北	台湾・台北	12/14～16	135,000																					
大宜味村まつり (焼き牡蠣、さんまのつみれ汁等販売)	沖縄県大宜味村	1/18～1/20	5,234																					
成 果		<ul style="list-style-type: none"> 本市のさらなる認知度向上のため、観光協会等の関係団体と連携して観光施設のPRを行った。 各種イベントの参加及び地域間交流事業を活用し、観光施設のPRに合わせた地場産品の紹介宣伝を行うとともに、市内で開催するイベント紹介など観光宣伝事業を展開し、観光・物産の振興を図った。 国内のイベント以外に台湾での観光PRを行い、インバウンドの誘客を図った。 																						
成果に係る評価		<p>本事業により、観光PRを通じて他地域における石巻市の知名度を向上させることは本市の産業振興にもつながるため、今後も積極的に実施し、地域産業の活性化を推進することとしたい。</p> <p>また、これまで国内を中心にプロモーション活動を実施してきたが、今日のインバウンド需要の重要性を鑑み、台湾等アジア圏域の需要にも取り込むべく、積極的な観光物産PRを進めていく必要があることから、宮城県国際観光テーマ地区推進協議会と連携し、観光動態の分析・把握により、具体的な観光PR戦略を打ち出していくこととしたい。</p>																						
(単位：円)																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																					
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																		
	34,057,054	33,858,380			6,936,800	26,921,580																		

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 3 章	地域資源を生かして元 気産業を創造するまち	復興計画	()																																									
	1 項	商工費		第 7 節	年間を通して観光客が訪れえ ることによりにぎわいを創出 する		()																																									
	3 目	観光費		(1)	魅力ある観光地づくりと効率 的なPRの推進を図る		()																																									
実施計画掲載ページ			P 54	中 事 業	観光振興対策費																																											
事業コード		003-007-001-00159	事 業 名	まつりイベント事業																																												
目的及び事業内容		各種祭りイベントの開催を支援することにより、地場産業の振興、地域伝統文化の継承保存及び地域住民の融和とコミュニティの形成による地域活性化を図る。あわせて、交流人口の増加による地域経済の活性化を推進する。																																														
取組実績		<p>各種まつりイベント実行委員会に対して補助金・負担金を交付し、事業の実施に当たっては実行委員会等への支援を行った。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>イベント名称</th> <th>開催日</th> <th>入込数（人）</th> <th>補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サン・ファン祭り</td> <td>5/27</td> <td>15,000</td> <td>1,700,000円</td> </tr> <tr> <td>石巻川開き祭り</td> <td>7/31～8/1</td> <td>188,000</td> <td>7,000,000円</td> </tr> <tr> <td>牡鹿鯨まつり</td> <td>8/6</td> <td>6,000</td> <td>5,000,000円</td> </tr> <tr> <td>サマーフェスティンかほく</td> <td>8/12</td> <td>9,500</td> <td>2,100,000円</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン渡波市民祭り</td> <td>8/14</td> <td>3,000</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>ものうふれあい祭り</td> <td>9/8</td> <td>14,000</td> <td>4,150,000円</td> </tr> <tr> <td>かほく産業まつり</td> <td>10/28</td> <td>3,500</td> <td>1,300,000円</td> </tr> <tr> <td>かなん市民まつり</td> <td>11/3</td> <td>8,500</td> <td>1,900,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>247,500</td> <td>23,350,000円</td> </tr> </tbody> </table>							イベント名称	開催日	入込数（人）	補助金	サン・ファン祭り	5/27	15,000	1,700,000円	石巻川開き祭り	7/31～8/1	188,000	7,000,000円	牡鹿鯨まつり	8/6	6,000	5,000,000円	サマーフェスティンかほく	8/12	9,500	2,100,000円	サン・ファン渡波市民祭り	8/14	3,000	200,000円	ものうふれあい祭り	9/8	14,000	4,150,000円	かほく産業まつり	10/28	3,500	1,300,000円	かなん市民まつり	11/3	8,500	1,900,000円	計		247,500	23,350,000円
イベント名称	開催日	入込数（人）	補助金																																													
サン・ファン祭り	5/27	15,000	1,700,000円																																													
石巻川開き祭り	7/31～8/1	188,000	7,000,000円																																													
牡鹿鯨まつり	8/6	6,000	5,000,000円																																													
サマーフェスティンかほく	8/12	9,500	2,100,000円																																													
サン・ファン渡波市民祭り	8/14	3,000	200,000円																																													
ものうふれあい祭り	9/8	14,000	4,150,000円																																													
かほく産業まつり	10/28	3,500	1,300,000円																																													
かなん市民まつり	11/3	8,500	1,900,000円																																													
計		247,500	23,350,000円																																													
成 果		<p>各まつりイベント事業の開催により、観光客誘致、地域産業のPR等による地域活性化、地域文化の継承と郷土意識の向上、地域住民間の融和が図られた。</p> <p>なお、牡鹿鯨まつりについては、県内外の大学生ボランティアなどの協力をいただきながら、鮎川地区以外の牡鹿地域内小中学生の参加や、鯨のアレンジ料理の提供、打ち上げ花火の実施により、牡鹿半島地域のにぎわいが創出され地域振興が図られた。</p>																																														
成果に係る評価		<p>各まつりイベント事業の開催により誘客が推進され、交流人口の増加と地域住民と観光客など多くの人々とのつながりを持つことができ、地域活性化が推進されている。</p> <p>また、地域に伝承する祭事等を活用したイベントの開催により、伝統文化継承などの意識向上にもつながることから、イベントの開催を果した役割は非常に大きい。</p>																																														
(単位：円)																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	23,350,000	23,350,000			11,350,000	12,000,000																																										

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																												
	1 項	商工費		第 節			()																												
	3 目	観光費		()			()																												
実施計画掲載ページ			中 事 業		サン・ファン・パウティスタパーク運営費																														
事業コード			事 業 名		サン・ファン・パウティスタパーク管理事業																														
目的及び事業内容			サン・ファン・パウティスタパークの適正な維持管理を図るとともに、市民の文化活動の向上と憩いの場を提供し、さらに観光拠点として地域活性化及び地域振興の推進に寄与する。																																
取組実績			<p>1 指定管理者 公益財団法人慶長遣欧使節船協会</p> <p>2 指定管理料 40,000,000円</p> <p>3 指定管理期間 平成31年4月1日～令和4年3月31日</p> <p>4 事業内容</p> <p>(1)観光情報の提供</p> <p>(2)パーク内行為許可業務</p> <p>(3)各種設備機器保安・保守業務</p> <p>5 利用者数 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パーク来園者数</td> <td>91,509</td> <td>134,621</td> <td>118,148</td> <td>99,906</td> <td>86,094</td> <td>86,644</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン館入館者数</td> <td>30,746</td> <td>44,928</td> <td>48,614</td> <td>26,418</td> <td>31,886</td> <td>32,544</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	パーク来園者数	91,509	134,621	118,148	99,906	86,094	86,644	サン・ファン館入館者数	30,746	44,928	48,614	26,418	31,886	32,544						
年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																													
パーク来園者数	91,509	134,621	118,148	99,906	86,094	86,644																													
サン・ファン館入館者数	30,746	44,928	48,614	26,418	31,886	32,544																													
成 果			<p>隣接する宮城県慶長使節船ミュージアム（サン・ファン館）との一体的な管理運営により、相互の施設の魅力や集客力の向上を効率的に実施し、安定した管理運営が図られた。また、民間主催の各種イベント会場の貸出に留まらず、積極的に事業協力するなど、地域の活性化や賑わい創出などの利用促進にも努めた。</p> <p>○サン・ファン・パウティスタパークを会場とした主なイベント</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催日</th> <th>来場者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東北COLORS MEETING in石巻（民間主催）</td> <td>5/13</td> <td>200～300</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン祭り</td> <td>5/27</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>サン・ファン石恋まつり（民間主催）</td> <td>7/16</td> <td>1,911</td> </tr> <tr> <td>小学生交流バーベキュー</td> <td>7/21</td> <td>120～130</td> </tr> <tr> <td>ウェディング撮影</td> <td>8/5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>サンファン渡波市民夏まつり</td> <td>8/14</td> <td>2,491</td> </tr> <tr> <td>「渡波小学校縦割り遠足」オリエンテーリング</td> <td>9/13</td> <td>242</td> </tr> <tr> <td>ツール・ド・東北（給水・休憩所）</td> <td>9/15</td> <td>169</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	開催日	来場者数(人)	東北COLORS MEETING in石巻（民間主催）	5/13	200～300	サン・ファン祭り	5/27	15,000	サン・ファン石恋まつり（民間主催）	7/16	1,911	小学生交流バーベキュー	7/21	120～130	ウェディング撮影	8/5	5	サンファン渡波市民夏まつり	8/14	2,491	「渡波小学校縦割り遠足」オリエンテーリング	9/13	242	ツール・ド・東北（給水・休憩所）	9/15	169
事業名	開催日	来場者数(人)																																	
東北COLORS MEETING in石巻（民間主催）	5/13	200～300																																	
サン・ファン祭り	5/27	15,000																																	
サン・ファン石恋まつり（民間主催）	7/16	1,911																																	
小学生交流バーベキュー	7/21	120～130																																	
ウェディング撮影	8/5	5																																	
サンファン渡波市民夏まつり	8/14	2,491																																	
「渡波小学校縦割り遠足」オリエンテーリング	9/13	242																																	
ツール・ド・東北（給水・休憩所）	9/15	169																																	
成果に係る評価			<p>復元船サン・ファン・パウティスタ号の乗船中止となっているものの、年間を通しての利用者数が、前年と比較して約500人増加となっているが、復元船の進水25周年を記念した企画展開催や、正面エントランス入口にミュージアムの案内映像を放映、館内には専用の可動式パーテーションを追加設置する等、ロビー展示の拡充を行うなど、来館者が興味を持って展示施設へ誘導できるよう取り組んだことが要因と考えられる。</p> <p>今後は、慶長使節船ミュージアム改修基本計画策定ワーキンググループにより、整備方針の具体化に向けた検討を行い、慶長使節船ミュージアム展示改修基本計画に反映させることを目的に協議を進めていく。</p>																																
(単位：円)																																			
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																												
		40,000,000	40,000,000				40,000,000																												

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()																									
	1 項	商工費		第 節			()																									
	3 目	観光費		()			()																									
実施計画掲載ページ			中 事 業		石ノ森萬画館運営費																											
事業コード			事 業 名		石ノ森萬画館運営事業																											
目的及び事業内容			街づくりまんぼうへの指定管理により、石ノ森萬画館の適正な維持管理を図るとともに、マンガ文化及び地域文化を発信し、誘客の促進と市内外の人々との交流促進を図り、市における文化の発展と地域経済の振興に寄与する。																													
取組実績			<p>1 指定管理者 株式会社街づくりまんぼう</p> <p>2 指定管理料 55,000,000円</p> <p>3 指定管理期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日</p> <p>4 事業内容</p> <p>(1)常設展示（無料展示）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石ノ森バイオグラフィ、サイボーグ009の世界、仮面ライダーの世界 など <p>(2)特別企画展</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>企画展名</th> <th>開催期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>わたせせいぞうの世界展 ハートカクテルin石巻</td> <td>H30/4/21～7/2</td> </tr> <tr> <td>サンリオキャラクターズ かわいいのヒミツ展</td> <td>H30/7/14～10/15</td> </tr> <tr> <td>萩尾望都SF原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく</td> <td>H30/10/27～H31/1/15</td> </tr> <tr> <td>ビッグコミック50周年展 -半世紀のビッグな足跡-</td> <td>H31/1/25～H31/4/8</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3)映像ホール（有料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「龍神沼」、「消えた赤ずきんちゃん」、「シージェッター海斗特別編」を上映 <p>(4)ライブラリー、マルチメディア工房（無料展示）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マンガ本約6,000冊、映像約300作品、各種ワークショップ体験ができるスペース <p>(5)資料収集・保存活動（過去に出版された石ノ森関連書籍や各マンガ家からの寄贈品紙など）</p> <p>(6)マンガタンイラストギャラリー（年4回テーマを設けてイラスト作品を募集し、萬画館に展示）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募数：H30＝290点、H29＝208点、H28＝259点、H27＝258点、H26＝233点 						企画展名	開催期間	わたせせいぞうの世界展 ハートカクテルin石巻	H30/4/21～7/2	サンリオキャラクターズ かわいいのヒミツ展	H30/7/14～10/15	萩尾望都SF原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく	H30/10/27～H31/1/15	ビッグコミック50周年展 -半世紀のビッグな足跡-	H31/1/25～H31/4/8														
企画展名	開催期間																															
わたせせいぞうの世界展 ハートカクテルin石巻	H30/4/21～7/2																															
サンリオキャラクターズ かわいいのヒミツ展	H30/7/14～10/15																															
萩尾望都SF原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく	H30/10/27～H31/1/15																															
ビッグコミック50周年展 -半世紀のビッグな足跡-	H31/1/25～H31/4/8																															
成 果			<p>石ノ森萬画館の適正な維持管理を図るとともに、マンガ文化及び地域文化を発信することにより、人々の交流を促進することができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数</th> <th>うち有料入場者数</th> <th>入館料等収入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>170,144人</td> <td>86,602人</td> <td>66,470,282円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>179,814人</td> <td>89,424人</td> <td>70,882,253円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>170,003人</td> <td>82,520人</td> <td>64,819,962円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>175,351人</td> <td>83,790人</td> <td>65,402,569円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>190,020人</td> <td>91,178人</td> <td>69,946,912円</td> </tr> </tbody> </table>						年度	利用者数	うち有料入場者数	入館料等収入	H26	170,144人	86,602人	66,470,282円	H27	179,814人	89,424人	70,882,253円	H28	170,003人	82,520人	64,819,962円	H29	175,351人	83,790人	65,402,569円	H30	190,020人	91,178人	69,946,912円
年度	利用者数	うち有料入場者数	入館料等収入																													
H26	170,144人	86,602人	66,470,282円																													
H27	179,814人	89,424人	70,882,253円																													
H28	170,003人	82,520人	64,819,962円																													
H29	175,351人	83,790人	65,402,569円																													
H30	190,020人	91,178人	69,946,912円																													
成果に係る評価			<p>年度内に4つの企画展を開催し、前年比8%の入場者増となった。また、市内各所で実施されたイベント「感伝祭」を開催し、かわまち交流センターやCOMMON-SHIP橋通り等、かわまちエリア全体の周遊を促し、人気声優を招いてのトークショーやバザーなどを実施し、開催当月は前年より13%の入場者増となった。</p> <p>上記の他、中瀬公園においてマンガタン祭り等の定期イベントの開催や、フォトコンテスト、スタンブラリー等を企画し、イベント開催時以外にも入場者が増加するよう努めた。</p>																													
(単位：円)																																
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳																												
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																									
		57,016,000	56,583,232				56,583,232																									

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	商工費		第 節			()	
	3 目	観光費		()			()	

実施計画掲載ページ		中 事 業	マンガアイランド管理運営費
-----------	--	-------	---------------

事業コード		事 業 名	マンガアイランド管理運営事業
-------	--	-------	----------------

目的及び事業内容
田代島の豊かな自然環境に親しみ、マンガとふれあう場を設けることにより、市民の自然と文化への理解を深め、心身の健康を増進するとともに、住民と来訪者との交流による島の活性化を図ることを目的とする。

取 組 実 績	1 マンガアイランド利用実績 内訳									
	マンガロッジ		テントサイト		合計				使用料(円)	
	年度	実人数	延べ人数	利用件数	実人数	延べ人数	利用件数	実人数	延べ人数	利用件数
H26	385	496	127	73	73	36	458	569	163	1,348,600
H27	518	591	163	109	128	47	627	719	210	1,645,700
H28	495	560	168	77	92	40	572	652	208	1,672,650
H29	393	468	149	70	83	30	463	551	179	1,466,700
H30	296	350	110	55	69	33	351	419	143	1,132,350
取 組 実 績	2 備品等貸出件数 内訳									
	種類		利用件数							
	マウンテンバイク(大人用)		57							
	マウンテンバイク(小人用)		10							
	電動自転車		159							
	釣竿		21							
	天体望遠鏡		0							
	合 計		247							
	3 マンガアイランドセンターハウス修繕(前年度から全額繰越) 工期:平成30年1月10日~6月20日 内容:外壁塗装・既設バルコニー撤去・一部新設、既設ウッドデッキ撤去・新設 既設建具撤去・新設、二階窓部分を両開き型に変更									

成 果
4月1日から7月5日までの間、センターハウス修繕により営業を休止したため、7月から10月までの稼働期間(7ヶ月から4ヶ月に減少)となった。
繁忙期・閑散期の種別を無くし、火曜日のみを休館日とすることで営業日数を担保したものの、台風の影響で網地島ラインが度々欠航になったこともあり、収入が前年度比約77%に落ち込んだ。
また、本施設の開設期間の管理運営を、直営管理から民間業者へ業務委託をした。

成果に係る評価
平成30年度は3ヶ月間の開設期間となったが、次年度は7ヶ月間の開設期間を確保するとともに、繁忙期や閑散期を無くしたことにより、昨年度より営業日数が増加するため、前年度よりも長期の利用可能期間となる。
本施設の管理運営が民間業者へ委託されたことにより、お客様対応等についてサービス内容の向上が図られた。また、職員がセンターハウスに常駐する日数が増えたことにより、利用客に不便をかけることが少なくなった。

(単位:円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	8,492,954	8,312,562			1,211,550	7,101,012

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 3 章	地域資源を生かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	商工費		第 7 節	年間を通して観光客が訪れえることによりにぎわいを創出する		()	
	3 目	観光費		(1)	魅力ある観光地づくりと効率的なPRの推進を図る		()	

実施計画掲載ページ	P55	中 事 業	石巻圏DMO推進事業費
-----------	-----	-------	-------------

事業コード	003-007-001-01184	事 業 名	石巻圏DMO推進事業【地方創生】
-------	-------------------	-------	------------------

目的及び事業内容
石巻圏における観光の広域連携と、圏域の経済効果・産業の活性化や地域の価値向上を目的とし、効果的な情報発信や、周遊モデルルートの作成・商品化などを行う一般社団法人石巻圏観光推進機構の運営を支援する。

取 組 実 績	石巻圏DMO推進事業									
	1 観光データ収集・分析事業 石巻圏観光地競争力調査 東北学院大学、石巻専修大学と連携し観光客、地域住民、二市一町の行政、観光関連企業にアンケート調査を実施。									
	2 観光コンテンツ開発・人材育成事業 (1)インバウンド対応事業 大型客船受入対応:かわまち交流センターにて外国人向けウェルカムイベントを開催 インバウンドプロモーション映像作成事業 (2)地域コンテンツ開発事業・人材育成事業 観光コンテンツ・旅行商品の開発 32商品									
	3 コーディネート事業 (1)民泊コーディネート業務 イベント民泊の受け入れ並びに民泊受入システムの構築、萬画ミステリー列車の運行									
	4 教育旅行誘致事業 宮城県、東北観光推進機構等と連携し、県内外の中学校へのプロモーション活動を実施									
	5 サイクルツーリズム推進事業 (1)レンタサイクルの貸出 (2)サイクルイベントの開催 2件 ア サイクルトレイン【牡鹿半島ぐるっとライドOSHI I】(JR東日本仙台支社と連携) 開催:7月29日、参加者:26名 イ 牡鹿半島チャレンジライド2018 ―ヒルクライム&ファンライド― 開催:10月21日、参加者:73名									
	6 二市一町観光プロモーション事業 (1)観光パンフレットご当地じゃらん「海街さんぽ」の作成 (2)I B E X エアラインズ機内での石巻圏プロモーション動画5本の公開									

成 果
サイクルツーリズム推進事業では、JR東日本と連携し石巻エリア初のサイクルトレイン運行を行ったほか、牡鹿半島チャレンジライド2018を実施し、サイクリストの誘客に努めた。
教育旅行誘致事業では、宮城県などと連携し県内をはじめ、北海道、東京、福岡での誘致活動を行いながら、昨年度リニューアルした誘致パンフレットを活用しプロモーションを行った。
インバウンド対応事業では、大型客船入港時に地域の関係者、事業者と連携し受入を行った。
旅行業においては、地域ならではのコンテンツを旅行商品として販売するとともに、仙石線開通90周年記念事業にあわせた萬画列車の運行など、地域発着型ツアーを造成・販売し、エリア内の交流人口の拡大に努めた。

成果に係る評価
石巻圏観光推進機構設立2年目となり、平成30年3月14日に取得した地域限定旅行業を活かした旅行商品の造成・販売が始まり、石巻圏観光推進機構本来の活動が走り始めた年となった。
今後も石巻圏観光推進ビジョンに基づき、石巻圏の連携団体の増加を図るとともに大型客船寄港や大規模イベントと連動した旅行商品や、コンテンツ融合型商品の開発・販売などにより、石巻圏への誘客を推進し、同機構の自立自走のための力を育成していく必要がある。

(単位:円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	34,316,000	32,706,154	16,322,719			16,383,435

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	()	
	1 項	商工費		第 節			()	
	3 目	観光費		()			()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	家族旅行村管理費				
事業コード			事 業 名	家族旅行村管理事業				
目的及び事業内容		おしか家族旅行村オートキャンプ場を運営することにより、自然の中での健全な観光レクリエーションを楽しむ場を確保し、自然との調和を図りつつ、健康と福祉の増進及び観光産業の振興を図る。						
取組実績	○おしか家族旅行村オートキャンプ場 概要							
	・施設：管理棟 1棟（事務室、ロビー、便所、倉庫及び休憩室） サンタリー棟 1棟（炊事室、洗面所、便所及びシャワー室） 個別サイト 31か所（電源付サイト：5か所、サイトA：23か所、サイトB：3か所） ケビン棟 6棟（A棟：4棟、B棟：2棟）							
	○管理業務 1 指定管理者 太平ビルサービス（株） 2 指定管理期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日 3 指定管理料 6,000,000円 4 事業内容 ①施設管理運営 ②施設維持管理 ③自主事業（売店、レンタル等） 5 利用実績							
		実績		H27	H28	H29	H30	
利用件数（ケビン棟）				203	240	317	434	
利用件数（個別サイト）				337	299	421	891	
利用者数（人）				2,616	2,469	3,329	4,641	
利用金額（円）				5,876,000	6,676,800	9,800,100	12,436,200	
6 修繕内容		・ケビン棟（A-3、A-4）外壁舗装修繕 2,354,400円 ・給湯器修繕 151,200円 ・エアコン修繕 205,200円 ・ブローワー修繕 183,600円 計 2,894,400円						
7 その他		・特殊建築物等定期点検業務委託料 216,000円 ・日本オートキャンプ協会費 50,000円						
成 果	震災後は、自然の中で健全な観光レクリエーションの場を確保し、観光産業の振興を図るとともに、ケビン棟の外壁舗装修繕等を実施し、施設の維持管理に努めている。 運営管理については、平成29年12月から開始したインターネットによる利用予約に加え、情報誌、ラジオを活用した周知により、ゴールデンウィークや夏休み等の行楽シーズンは高い稼働率で施設の利用状況が良好である。 また、前年度より冬季期間（12月～3月）の個別サイト開放を実施しており、年間利用者数を約39%増の4,641人と大幅に伸ばし、施設利用料も増加している。							
成果に係る評価	指定管理者制度を導入して3年目となるが、繁忙期に関わらず通年において利用者が増加しており、順調な成果を示している。 今後においても民間の活力を活かし、リポーンアート・フェスティバル、金華山、みちのく潮風トレイル等との相乗効果が出るようなPRに努め、周辺施設や地元宿泊施設等と連携した事業運営により、牡鹿半島での観光振興につなげ、さらなる利用者の増加を目指したい。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	9,277,000	9,160,400				9,160,400		

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 3 章	地域資源を活かして元気産業を創造するまち	復興計画	()	
	1 項	商工費		第 7 節	年間を通して観光客が訪れることによりにぎわいを創出する		()	
	3 目	観光費		(1)	魅力ある観光地づくりと効率的なPRの推進を図る		()	
実施計画掲載ページ		P53	中 事 業	海水浴場開設費				
事業コード		003-007-001-00158	事 業 名	海水浴場開設事業				
目的及び事業内容		夏の観光の目玉として、三陸の綺麗な海を海水浴場として開設する。 また、施設の安全対策の充実と利便性の向上に努め、海難事故防止を図るとともに、観光客や市民が安心して海に親しむためのレクリエーションの場として誘客を促進し、地域の活性化を図る。						
取組実績	1 市営海水浴場の開設							
			海水浴場名		地区	開設期間		備考
		渡波海水浴場		市内	7/21（土）～8/12（日）		※7/21海開き式	
		白浜海水浴場		北上	7/21（土）～8/19（日）		※7/21海開き式	
		網地白浜海水浴場		牡鹿	7/14（土）～8/19（日）		※7/13海開き式	
2 令和元年度開設準備		平成28年度に実施した海水浴場再開適地調査の結果、荒浜海水浴場について、海水浴場として水深・水質等が安全で実施可能となったことから、令和元年度以降の実施に向け関係機関と調整を行った。						
成 果	平成30年度から、渡波・白浜海水浴場が震災後初めて開設され、多くの観光客や市民に海に親しむ場を提供した。また、海水浴場施設の安全対策の充実と利便性の向上に努めることにより、海難事故防止が図られた。							
成果に係る評価	1 海水浴場入込数							
			海水浴場名		地区	日数	H22・29入込数	H30入込数
		渡波海水浴場		市内	23	7,783（H22）	5,300	68.1%
		白浜海水浴場		北上	30	10,681（H22）	4,496	42.1%
		網地白浜海水浴場		牡鹿	37	9,915（H29）	28,699	289.5%
		計				28,379	38,495	135.6%
2 今後開設する海水浴場		令和2年度：荒浜海水浴場、十八成浜海水浴場						
成果に係る評価	網地白浜については、猛暑が続いたことから、昨年を大きく上回り、震災前の入込数（H22:31,531人）に近づいた。 渡波・白浜については、石巻市内で先に再開している網地白浜海水浴場に多くの人が流れたことにより、入込数が震災前に届かなかったものと考えられる。 令和元年度では、渡波海水浴場における遊泳時間の延長や、開設期間の延長を検討し、今年度よりも多い観光客の入込みを図る。							
（単位：円）								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源		
	19,031,080	18,974,560				18,974,560		

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画		
	1 項	商工費		第 節				
	3 目	観光費		()				
実施計画掲載ページ			中 事 業	北上観光物産交流センター運営費				
事業コード			事 業 名	北上観光物産交流センター管理運営事業				
目的及び事業内容			環境省が北上地区に整備するフィールドミュージアムの敷地内に、観光物販交流施設を整備し、地域再生と観光振興を図る。北上観光物産交流センターは平成30年2月11日に開館。					
取組実績			<p>1 北上観光物産交流センター 所在地：石巻市北上町十三浜字東田1番地 開館時間：午前9時から午後5時まで 休館日：火曜日及び年末年始 2 指定管理者：一般社団法人 石巻観光協会 3 指定管理料：5,800,000円（平成30年度） 4 指定管理期間：平成30年2月1日～令和3年3月31日 5 事業内容：①北上の観光案内・情報の発信 ②北上の生産物及び加工品の展示販売 ③北上の風景写真の展示等 6 利用実績：入館者数 22,678人</p> <p>※イベント開催 ・平成30年 9月30日「きたかみ秋の物産まつり」環境フェアと同時開催 台風接近に伴い、屋外での販売を中止。来館者へ振舞いのみ実施。 ・平成30年12月28日「にっこり歳の市」 21店舗出店 来場者1,000人 ・平成31年 2月10日「1周年記念セール」 来館者472人 ・平成31年 2月10日、3月3日、3月10日「十三浜わかめ即売会」</p>					
成 果			平成30年度の入館者は22,678人（1日平均約73人）となっており、堅調に推移している。センターの運営に当たり、地元の北上地域物産振興協会と連携し、上記イベントを開催。魅力あふれる地場産品の販売促進を行ったことによりセンターを核とした賑わいが創出された。					
成果に係る評価			平成30年4月18日に開設した環境省の「川のピジターセンター」、平成30年7月21日に再開した「白浜海水浴場」、本年4月1日に開設した「白浜ビーチパーク」と相乗効果を発揮していくことで、地域の周遊・滞在時間を増やしていく。					
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	5,800,000		5,800,000					5,800,000

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																					
	1 項	商工費		第 節			(2)	企業誘致と新産業の創出																					
	4 目	東日本大震災関係費		()			(1)	産業の活性化と新産業の育成																					
実施計画掲載ページ		P210	中 事 業	企業立地等促進事業費																									
事業コード		004-201-003-00531	事 業 名	企業誘致等支援事業																									
目的及び事業内容		事業者の設備投資を促すため、設備投資額や雇用人数等の一定の要件を満たす事業者に対して助成金を交付することで、企業誘致の促進と市内企業の育成による産業の振興と雇用の拡大を図る。																											
取組実績		<p>石巻市企業立地等促進条例助成金交付実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>件数</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・企業立地助成金</td> <td>18 件</td> <td>29,415,600 円</td> </tr> <tr> <td>・上水道料金助成金</td> <td>3 件</td> <td>1,007,362 円</td> </tr> <tr> <td>・雇用奨励助成金</td> <td>4 件</td> <td>7,200,000 円</td> </tr> <tr> <td>・環境対策設備助成金</td> <td>4 件</td> <td>98,880,000 円</td> </tr> <tr> <td>・新産業等創出促進助成金</td> <td>2 件</td> <td>31,423,566 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31 件</td> <td>167,926,528 円</td> </tr> </tbody> </table>							項目	件数	事業費	・企業立地助成金	18 件	29,415,600 円	・上水道料金助成金	3 件	1,007,362 円	・雇用奨励助成金	4 件	7,200,000 円	・環境対策設備助成金	4 件	98,880,000 円	・新産業等創出促進助成金	2 件	31,423,566 円	合計	31 件	167,926,528 円
項目	件数	事業費																											
・企業立地助成金	18 件	29,415,600 円																											
・上水道料金助成金	3 件	1,007,362 円																											
・雇用奨励助成金	4 件	7,200,000 円																											
・環境対策設備助成金	4 件	98,880,000 円																											
・新産業等創出促進助成金	2 件	31,423,566 円																											
合計	31 件	167,926,528 円																											
成 果		本市産業の活性化のため、企業誘致等を促進した結果、平成30年度においては、助成金交付は23社、31件であった。23社のうち、平成30年度に新たに交付対象となったのは11社で、25名の新規雇用があり、安定的かつ持続的な就業の場が確保され、雇用の促進が図られた。 また、平成30年11月に策定した石巻市企業誘致推進計画に基づき、企業誘致のインセンティブを強化するため、石巻市企業立地等促進条例を改正し、平成31年4月から施行した。																											
成果に係る評価		平成30年度は、23社に対して助成金を交付しており、誘致企業のみならず、市内企業に対する支援を行っており、本市産業の復興及び活性化に繋げている。 石巻市企業立地等促進条例の一部改正により、指定企業者の要件緩和等を行っており、石巻トウモロビジネスタウン、上釜南部・下釜南部地区及び浜西地区への立地を進めていく。																											
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳																								
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																					
	167,927,000		167,926,528					167,926,528																					

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画																																																		
	1 項	商工費		第 節																																																				
	4 目	東日本大震災関係費		()																																																				
実施計画掲載ページ			中 事 業	企業立地等促進事業費																																																				
事業コード			事 業 名	次世代施設園芸導入加速化支援事業																																																				
目的及び事業内容			施設園芸を次世代に向かって発展させるため、施設の大規模な集約によるコスト削減、ICTを使用した高度な環境制御技術による周年・計画生産を行い、所得の向上と地域雇用の創出を図るため、木質バイオマス等の地域資源を活用した脱石油型エネルギー供給施設や高度な環境制御を行う園芸施設等を整備した事業者の経営を支援する。																																																					
取組実績			<p>国の次世代施設園芸導入加速化支援事業の趣旨及び目的を踏まえ、国事業を的確かつ円滑に実施することを目的とし、生産者、実需者、研究機関及び行政等で組織する「石巻次世代施設園芸コンソーシアム」が設立されており、事業主体である株式会社デ・リーフデ北上の経営の安定化に向け、市場ニーズに合った販売戦略構築などの経営支援のほか、栽培指導などに取り組んでいる。</p> <p>石巻次世代施設園芸コンソーシアム 構成員 ・株式会社デ・リーフデ北上 ・リッチフィールド株式会社 ・株式会社未来彩園 ・デリカフーズ株式会社 オブザーバー ・宮城大学 ・東北大学 未来科学技術共同研究センター</p> <p>株式会社石巻青果 ・いしのまき農業協同組合 ・宮城県 ・石巻市</p> <p>コンソーシアム取組実績 1 石巻次世代施設園芸コンソーシアム 総会 平成30年 6月 1日 第1回運営委員会 平成30年 5月18日 第2回運営委員会 平成30年11月28日 第3回運営委員会 平成31年 3月26日 2 国内先進地調査 ①第1回次世代施設園芸拠点情報交換会（つくば市） 平成30年 6月21日 ②GPEC2018（東京） 平成30年 7月12日～13日 ③次世代施設園芸フォーラムin大分 平成30年10月22日～23日 ④第2回次世代施設園芸拠点情報交換会（大分市） 平成30年10月24日 3 販路拡大取組 ①スーパーマーケットトレードショー2019（幕張） 平成31年 2月13日～15日 ②FOODEX JAPAN 2019（東京） 平成31年 3月 5日～ 6日 4 情報発信 ①拠点パンフレット増刷 ②商品パンフレット改修</p>																																																					
成 果			<p>石巻次世代施設園芸コンソーシアムの活動により、栽培及び販売計画等の情報共有が図られたほか、今後の事業実施についての各種課題解決に向けた協議が行われた。</p> <p>また、平成30年9月にトマト、平成31年1月にパブリカの第3期作目の出荷が開始され、トマト、パブリカとも目標収量を上回っている。販売については契約取引が拡大したことで販売単価が上昇し、売上増にもつながっている。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>H28年度</td> <td>H29年度</td> <td>H30年度</td> <td></td> <td></td> <td>H28年度</td> <td>H29年度</td> <td>H30年度</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ト</td> <td rowspan="3">マ</td> <td>収量（目標 t）</td> <td>90.1</td> <td>246.8</td> <td>321.5</td> <td rowspan="3">パ</td> <td>収量（目標 t）</td> <td>46.6</td> <td>226.2</td> <td>247.0</td> </tr> <tr> <td>収量（実績 t）</td> <td>162.4</td> <td>371.1</td> <td>423.9</td> <td>収量（実績 t）</td> <td>85.4</td> <td>314.7</td> <td>300.0</td> </tr> <tr> <td>対目標比（%）</td> <td>180.2</td> <td>150.4</td> <td>131.9</td> <td>対目標比（%）</td> <td>183.3</td> <td>139.1</td> <td>121.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>栽培期間</td> <td>5か月</td> <td>10か月</td> <td>11か月</td> <td>リ</td> <td>栽培期間</td> <td>4か月</td> <td>9か月</td> <td>9か月</td> </tr> </table>								H28年度	H29年度	H30年度			H28年度	H29年度	H30年度	ト	マ	収量（目標 t）	90.1	246.8	321.5	パ	収量（目標 t）	46.6	226.2	247.0	収量（実績 t）	162.4	371.1	423.9	収量（実績 t）	85.4	314.7	300.0	対目標比（%）	180.2	150.4	131.9	対目標比（%）	183.3	139.1	121.5			栽培期間	5か月	10か月	11か月	リ	栽培期間	4か月	9か月	9か月
		H28年度	H29年度	H30年度			H28年度	H29年度	H30年度																																															
ト	マ	収量（目標 t）	90.1	246.8	321.5	パ	収量（目標 t）	46.6	226.2	247.0																																														
		収量（実績 t）	162.4	371.1	423.9		収量（実績 t）	85.4	314.7	300.0																																														
		対目標比（%）	180.2	150.4	131.9		対目標比（%）	183.3	139.1	121.5																																														
		栽培期間	5か月	10か月	11か月	リ	栽培期間	4か月	9か月	9か月																																														
成果に係る評価			平成30年度から3期作目の栽培、出荷が行われており、経営課題の解決や販路の拡大に向け、引き続きコンソーシアムの構成員として事業主体への側面的支援を行っていく。																																																					
（単位：円）																																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																					
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																																		
	2,500,000	2,500,000					2,500,000																																																	

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章		復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																																				
	1 項	商工費		第 節			(1)	海とともに生きる																																				
	4 目	東日本大震災関係費		()			(4)	商業の再建復興																																				
実施計画掲載ページ			P194	中 事 業	商工業復興対策費																																							
事業コード			003-104-001-00430	事 業 名	中小企業者支援事業〔復興基金〕																																							
目的及び事業内容			震災により直接被害を受けた市内中小企業者を支援するため、被災した施設及び設備の復旧に要する経費の一部を補助するもの。																																									
取組実績			<p>平成30年度補助金交付額 7,409,091円</p> <p>1 補助対象者 (1) 市内で事業を営んでいる中小企業者 (2) 施設が全壊又はそれに準ずる大規模な被害を受け、事業を継続することが困難である者 (3) 施設及び設備を復旧して市内で事業を再開又は継続する者で、かつ、当該復旧に要する経費が20万円以上である者 (4) 東日本大震災発生以前に、到来した納期において納付すべき市税及び国民健康保険税を完納しており、かつ、事業内容が堅実な事業者</p> <p>2 補助対象工事 (1) 被災した施設の修復、建替に要する経費（住宅と施設が一体となっている場合は、施設に要する経費に限る。） (2) 被災した設備の修繕又は入替に要する経費</p> <p>3 補助金の額 補助対象経費の2分の1以内に相当する額（限度額100万円）</p>																																									
成 果			<p>被災した市内事業者の施設復旧を支援することにより、地域経済の活性化を図った。</p> <p>・平成30年度交付件数 9事業所</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業種</th> <th>交付件数</th> <th>交付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス業</td> <td>3</td> <td>2,129,045円</td> </tr> <tr> <td>運輸業</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>卸・小売業</td> <td>1</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td>宿泊・飲食業</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>製造業</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建設業</td> <td>1</td> <td>1,000,000円</td> </tr> <tr> <td>医療・福祉</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教育・学習支援業</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>情報通信業</td> <td>1</td> <td>787,946円</td> </tr> <tr> <td>不動産業</td> <td>3</td> <td>2,492,100円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9</td> <td>7,409,091円</td> </tr> </tbody> </table>						業種	交付件数	交付金額	サービス業	3	2,129,045円	運輸業	0		卸・小売業	1	1,000,000円	宿泊・飲食業	0		製造業	0		建設業	1	1,000,000円	医療・福祉	0		教育・学習支援業	0		情報通信業	1	787,946円	不動産業	3	2,492,100円	計	9	7,409,091円
業種	交付件数	交付金額																																										
サービス業	3	2,129,045円																																										
運輸業	0																																											
卸・小売業	1	1,000,000円																																										
宿泊・飲食業	0																																											
製造業	0																																											
建設業	1	1,000,000円																																										
医療・福祉	0																																											
教育・学習支援業	0																																											
情報通信業	1	787,946円																																										
不動産業	3	2,492,100円																																										
計	9	7,409,091円																																										
成果に係る評価			<p>平成30年度は9事業所に対して補助金を交付した。</p> <p>平成23年度から事業を実施し、これまで約700件、約5億4千万円の補助金交付を行い、事業者の復旧支援を行った。</p> <p>事業開始当時に比べ、年々申請件数は減少しているが、国、県事業の嵩上工事や被災市街地区画整理等未だに復興工事が完了していない状況では、事業用地が未確定のため、事業を再開できていない事業者が多く残されており、申請には至らないが、補助申請についての相談が引き続き多々あったことから、本事業の継続実施が必要である。</p>																																									
（単位：円）																																												
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																									
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																																						
	7,500,000	7,409,091					7,409,091																																					

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す
	1 項	商工費				(3)	職の再建
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	雇用の維持と創出
実施計画掲載ページ		P182	中 事 業		中小企業等融資関係費		
事業コード	002-301-001-00392	事業名		融資あっせん制度拡充事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容	<p>事業資金を必要とする中小企業事業者への緊急経済対策として、制度融資を実施するもの。市は預託金を差し入れ、金融機関においては、市が預託した金額の10倍の融資枠を設定する。また、融資保証料を50%補給、小企業小口融資利用者に対しては保証料を100%補給し安定した事業運営を支援している。東日本大震災の影響により被害を受けた事業者を支援するため、平成23年7月より災害関連枠を創設し、保証料の50%補給及び利子補給（3年間）を実施。</p>						
取組実績	金融機関に預託金を差し入れるとともに、保証料及び利子の補給、損失補償金を支出した。						
	区 分	預託額 (円)	保証料補給 (円)	利子補給 (円)	損失補償金 (円)		
	中小企業 融資(一般)	607,000,000	11,025,309	—	3,125,423		
	中小企業 融資(災害)	100,000,000	3,381,878	4,595,201	0		
	小企業 小口融資	43,000,000	184,525	—	0		
合計	750,000,000	14,591,712	4,595,201	3,125,423	総合計(円) 772,312,336		
成 果	上記事業の実施により、市内中小企業の経営の維持安定及び振興発展が図られた。						
	区 分	融資条件	融資枠 (千円)	融資状況		債務残高	
				件数 (件)	金額 (千円)	件数 (件)	金額 (千円)
	中小企業 融資 (一般)	(1) 限度額：2,000万円 (2) 期間：運転7年・設備10年・併用7年 (据置期間1年以内) (3) 利率：年2.0%（1年以内1.8%） (4) 保証料補給：信用保証料50%	6,070,000	83	608,773	280	1,269,475
中小企業 融資 (災害)	(1) 限度額：1,000万円 (2) 期間：10年（据置期間2年以内） (3) 利率：年1.5% (4) 保証料補給：信用保証料50%	1,000,000	34	260,960	136	560,007	
小企業 小口融資	(1) 限度額：350万円 (2) 期間：運転5年・設備7年・併用5年 (据置期間6か月以内) (3) 利率：年2.2%（1年以内2.0%） (4) 保証料補給：信用保証料100%	215,000	2	5,500	3	5,856	
成果に係る評価	一般枠については昨年度比28件増の83件となり、平成27年度以降減少傾向があったが、平成30年度は増加した。災害関連枠については昨年度比4件増加の34件となり、依然として被災事業が融資制度を必要としており、引き続き事業を継続していく必要がある。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	772,312,913	772,312,336			769,186,913	3,125,423	

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる
	1 項	商工費				(2)	企業誘致と新産業の創出
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	産業の活性化と新産業の育成
実施計画掲載ページ		P211	中 事 業		企業育成支援事業費		
事業コード	004-201-003-00530	事業名		6次産業化推進事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容	<p>地域資源を活用した商品開発、ブランド力向上及び販路拡大を推進するため、6次産業化の担い手となる人材育成と事業化支援を行うことにより、1次産業事業者の経営多角化及び所得向上並びに地場産業の振興を推進するため、「石巻市6次産業化・地産地消推進センター」の運営を委託する。センターにおいては6次産業化に取組む人材育成のため、セミナー等を実施するとともに、6次産業化に取り組む事業者に対し、個別相談や相談の内容に応じた専門家の派遣等、必要な支援を実施する。</p>						
取組実績	1 6次産業化推進業務委託料 58,206,001円 2 平成30年度はセンターにおいて以下の事業を実施した。						
	(1) 事業化支援						
	ア 商品開発支援 支援員派遣等により、各種のアドバイスを実施し商品化を推進。商品化件数は8件となった。また、販路開拓支援については、新規販路獲得件数19件となった。						
	イ 総合支援 相談受付件数350件のうち6次産業化関連は24事業者から254件。						
(2) 人材育成支援							
商品開発セミナーはJAいしのまきとタイアップして、開発商品のブラッシュアップと新商品開発を題材として行い、計8回行い、延43名が参加した。							
販路開拓セミナーは「基礎から学ぶ営業手法取得セミナー」をテーマに行い、45名が参加した。							
(3) イベント・プロモーションの取り組み							
ア 販売促進・販路開拓支援 JAいしのまきとの協働により石巻の農産品PRのため飲食店フェアの開催。 (飲食店の選定や営業・流通プログラムの構築支援等をセンターで行った。)							
イ 地産地消推進 いしのまき元気いちばを会場に、チャレンジショップの開催。 (センター利用事業者の新規開発商品を地産地消拡大とPRを目的に開催した。)							
(4) 産業復興支援員業務 センター支援事業者の活用事例冊子制作、イオン仙台幸町いしのまき元気いちばでのイベントを行った。							
成 果	センター事業の実施により、6次産業化の進捗が図られた。						
	【セミナー（講演会・ワークショップ等）及び視察の開催結果】						
	区分	開催回数	目標参加者数	参加者数			
H29	2	45	116				
H30	3	45	111				
【センター事業の成果】							
区分	相談受付件数	支援事業者数	総合化事業計画認定件数	商品開発件数	販路開拓件数		
	実績	実績	目標	実績	目標	実績	
H29	266	28	2	1	5	31	
H30	350	24	2	0	5	8	
成果に係る評価	<p>市内全体で、6次産業化に取り組む事業者による成果は前年実績より件数は減少しているが、相談件数やこれまでの取り組みに対する成果は順調に増加しており、着実に6次産業化が進んでいる。取り組んでいる事業者に対して、レベルに応じた支援を行うとともに、自立を促すための支援として開催したワークショップ・セミナーや、これまでに開発された商品を含めた石巻の食材のPRを目的に実施したイベント等、市内に限らず首都圏近郊で開催されたイベントへの出店を行うことで、今までの成果を基にした発展的な取り組みを行うことができた。今後も6次産業化を市の重要施策としてさらに推進していくため、事業者の自立をより一層意識した取り組みを重ね、継続して事業を行っていく必要がある。</p>						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	59,546,400	58,206,001				58,206,001	

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																										
	1 項	商工費				(2)	企業誘致と新産業の創出																										
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	産業の活性化と新産業の育成																										
実施計画掲載ページ		P211	中 事 業		企業育成支援事業費																												
事業コード		004-201-003-00926	事 業 名		6次産業化・地産地消推進事業〔復興基金〕																												
目的及び事業内容 農林漁業者と地域の様々な事業者との連携を強化し、創意工夫による地域資源の高付加価値化を図るため、1次産業者、2次産業及び3次産業を営む事業者がネットワークを形成して取り組む新商品開発や新ブランドの確立等を図る事業に対して、予算の範囲内において石巻市6次産業化・地産地消推進助成金を交付する。																																	
取 組 実 績 1 新商品開発事業 新商品開発等のため、試作製造やテスト販売等に対し相談や指導、助言等を行うことにより、6次産業化・地産地消の推進が図られた。 2 販路開拓事業 販路開拓のため、1事業（ネットワーク構成した市内事業者計2者）に対し、分業・協業による製品化、加工・販売を2次・3次事業者の連携により、新たな販路開拓を行う費用を助成し、6次産業化・地産地消の推進が図られた。 3 施設整備事業 施設整備のため、建物建築工事、設備取得に係る相談や助言等を行い、6次産業化・地産地消の推進が図られた。																																	
成 果 平成30年度、本助成金の交付により、市内1次産業者の6次産業化等が図られた。 【助成金交付実績額】																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値（件数）</th> <th>実績等（件数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>22</td> <td>10</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>10%</td> </tr> </tbody> </table>								区分	成果指標		達成率等	目標値（件数）	実績等（件数）	H26	5	2	40%	H27	22	10	45%	H28	10	8	80%	H29	10	6	60%	H30	10	1	10%
区分	成果指標		達成率等																														
	目標値（件数）	実績等（件数）																															
H26	5	2	40%																														
H27	22	10	45%																														
H28	10	8	80%																														
H29	10	6	60%																														
H30	10	1	10%																														
・販路開拓事業1件に対し、171,747円の助成金を交付した。 助成金額計171,747円																																	
成果に係る評価 平成30年度は、販路開拓事業の1件のみ約17万円であり、目標を下回った。これまでの助成により、石巻市の食材を活用した商品の開発に繋がっていると考えられ、本事業の効果は非常に高く、補助申請に向けた事前相談も活発に行われており、6次産業化に取り組む事業者への支援は今後も継続する必要がある。																																	
（単位：円）																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																											
	1,195,338	171,747			171,747																												

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる																												
	1 項	商工費				(4)	地域資源を活かす																												
	4 目	東日本大震災関係費				(1)	観光業・施設の再生復興																												
実施計画掲載ページ		P199	中 事 業		観光物産復興対策費																														
事業コード		003-401-002-00463	事 業 名		物産市等開催・参加支援事業、復興物産PR事業、雄勝復興祭りイベント事業、北上復興祭りイベント事業〔復興基金〕																														
目的及び事業内容 復興市等の実施やイベントへの参加に対して助成金を交付し、観光復興を図る。																																			
取 組 実 績 1 物産市等開催・参加支援事業費補助金の交付 ①開催支援事業…補助率3/4（限度額75万円） ②参加支援事業…補助率4/5（限度額30万円） 2 雄勝復興祭りイベント事業補助金の交付 補助額：1,800,000円 内容：主におがつ店こ屋街を会場に、イベントを5回開催しにぎわいの創出を図った。 3 北上復興祭りイベント事業補助金の交付 補助額：1,000,000円 内容：にっこり歳の市を開催し、にぎわいの創出を図った。 4 北上にっこり写真セミナー事業補助金の交付 補助額：700,000円 内容：にっこり写真セミナー・コンクールを開催し、観光産業の活性化を図った。 5 復興物産イベント実施先																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>場所</th> <th>開催日</th> <th>入込数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治体ポイントを活用した復興支援プロジェクトオープニングイベント</td> <td>東京都中央区</td> <td>6/22～6/24</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>ひらつか七夕まつり</td> <td>神奈川県平塚市</td> <td>7/6～7/8</td> <td>1,400,000</td> </tr> <tr> <td>豊島区友好都市観光物産展 ふくろ祭り</td> <td>東京都豊島区</td> <td>10/6～10/7</td> <td>1,050,000</td> </tr> <tr> <td>太田スロレク祭（焼きそば、海鮮串など）</td> <td>群馬県太田市</td> <td>10/27～10/28</td> <td>170,000</td> </tr> <tr> <td>東北復興大祭典なかの（缶詰、菓子、乾物等販売）</td> <td>東京都中野区</td> <td>10/27～10/28</td> <td>280,000</td> </tr> <tr> <td>狛江市民まつり（缶詰、菓子、乾物等販売）</td> <td>東京都狛江市</td> <td>11/18</td> <td>74,000</td> </tr> </tbody> </table>								名称	場所	開催日	入込数（人）	自治体ポイントを活用した復興支援プロジェクトオープニングイベント	東京都中央区	6/22～6/24	240	ひらつか七夕まつり	神奈川県平塚市	7/6～7/8	1,400,000	豊島区友好都市観光物産展 ふくろ祭り	東京都豊島区	10/6～10/7	1,050,000	太田スロレク祭（焼きそば、海鮮串など）	群馬県太田市	10/27～10/28	170,000	東北復興大祭典なかの（缶詰、菓子、乾物等販売）	東京都中野区	10/27～10/28	280,000	狛江市民まつり（缶詰、菓子、乾物等販売）	東京都狛江市	11/18	74,000
名称	場所	開催日	入込数（人）																																
自治体ポイントを活用した復興支援プロジェクトオープニングイベント	東京都中央区	6/22～6/24	240																																
ひらつか七夕まつり	神奈川県平塚市	7/6～7/8	1,400,000																																
豊島区友好都市観光物産展 ふくろ祭り	東京都豊島区	10/6～10/7	1,050,000																																
太田スロレク祭（焼きそば、海鮮串など）	群馬県太田市	10/27～10/28	170,000																																
東北復興大祭典なかの（缶詰、菓子、乾物等販売）	東京都中野区	10/27～10/28	280,000																																
狛江市民まつり（缶詰、菓子、乾物等販売）	東京都狛江市	11/18	74,000																																
成 果 1 物産市等開催・参加支援事業費補助金の交付																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>交付件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物産市等イベント開催支援事業</td> <td>15件</td> <td>7,243,000 円</td> </tr> <tr> <td>物産市等イベント参加支援事業</td> <td>69件</td> <td>12,889,000 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>84件</td> <td>20,132,000 円</td> </tr> </tbody> </table>								事業名	交付件数	補助金額	物産市等イベント開催支援事業	15件	7,243,000 円	物産市等イベント参加支援事業	69件	12,889,000 円	計	84件	20,132,000 円																
事業名	交付件数	補助金額																																	
物産市等イベント開催支援事業	15件	7,243,000 円																																	
物産市等イベント参加支援事業	69件	12,889,000 円																																	
計	84件	20,132,000 円																																	
2 雄勝復興祭りイベント事業																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>開催日</th> <th>入込数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道物産焼き出しBBQ</td> <td>5/5</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>おがつウニまつり</td> <td>7/1</td> <td>2,000人</td> </tr> <tr> <td>おがつ灯笼流し</td> <td>8/14</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>おがつ海鮮まつり</td> <td>10/21</td> <td>800人</td> </tr> <tr> <td>おがつ店こ屋街年末年始売出大抽選会</td> <td>12/21～1/6</td> <td>10店舗参加</td> </tr> </tbody> </table>								名称	開催日	入込数	北海道物産焼き出しBBQ	5/5	100人	おがつウニまつり	7/1	2,000人	おがつ灯笼流し	8/14	80人	おがつ海鮮まつり	10/21	800人	おがつ店こ屋街年末年始売出大抽選会	12/21～1/6	10店舗参加										
名称	開催日	入込数																																	
北海道物産焼き出しBBQ	5/5	100人																																	
おがつウニまつり	7/1	2,000人																																	
おがつ灯笼流し	8/14	80人																																	
おがつ海鮮まつり	10/21	800人																																	
おがつ店こ屋街年末年始売出大抽選会	12/21～1/6	10店舗参加																																	
3 北上復興祭りイベント事業																																			
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>にっこり歳の市</td> <td>12/28</td> <td>1,000人</td> </tr> </tbody> </table>								にっこり歳の市	12/28	1,000人																									
にっこり歳の市	12/28	1,000人																																	
成果に係る評価 物産市等の事業経費の一部を補助することによって、本市特産品の普及が促進され、震災の影響により落ち込んだ地域経済を立て直すための一助となった。																																			
（単位：円）																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																													
	24,433,520	24,433,520			23,632,000	801,520																													

予算科目	7 款	商工費	総合計画	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる												
	1 項	商工費			(4)	地域資源を活かす												
	4 目	東日本大震災関係費			(1)	観光業・施設の再生復興												
実施計画掲載ページ		P200	中 事 業	観光物産復興対策費														
事業コード		003-401-002-00465	事 業 名	石巻観光ボランティア協会復興支援事業〔復興基金〕														
目的及び事業内容		「震災まなびの案内」、石巻地域の歴史・文化等を案内する取組により、被災地を訪れる方々に震災伝承、防災学習の意義を伝える活動及び、駅頭案内や各観光イベント時のガイドなどを実施している石巻観光ボランティア協会に対する活動費を補助し、円滑な活動の促進を図る。																
取 組 実 績		震災後、激増している来訪者の対応等で負担が大きい石巻観光ボランティア協会に対し、研修等のための活動費を補助した。 1 研修会関係 平成30年11月25日～26日：北海道函館市 平成31年3月5日：山形県酒田市 2 ボランティアガイド関係 平成30年5月3日～5日：ゴールデンウィーク 駅頭案内 平成30年5月21日：大型客船寄港対応（ガイド、ツアー添乗等） 平成30年7月7日：おもてなしツアー みでけらin石巻 平成30年8月1日、12日～13日：石巻駅前駅頭案内 平成30年9月15日：ツール・ド・東北における語り部対応 平成31年3月11日：がんばろう石巻「3.11追悼イベント」協力 ほか																
成 果		○ 大震災学びの案内 活動実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>バス台数（うち学校）</th> <th>参加人数（うち学校）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>628台（37台）</td> <td>13,475人（2,365人）</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>447台（29台）</td> <td>8,052人（1,199人）</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>403台（22台）</td> <td>7,463人（819人）</td> </tr> </tbody> </table> ※ 観光協会総会資料より						バス台数（うち学校）	参加人数（うち学校）	H28	628台（37台）	13,475人（2,365人）	H29	447台（29台）	8,052人（1,199人）	H30	403台（22台）	7,463人（819人）
	バス台数（うち学校）	参加人数（うち学校）																
H28	628台（37台）	13,475人（2,365人）																
H29	447台（29台）	8,052人（1,199人）																
H30	403台（22台）	7,463人（819人）																
成果に係る評価		「大震災学びの案内」の利用者は開始以来のべ12.4万人を超える全国からの来訪者を案内していたが、平成24年度以降は年々減少しており、平成30年度については前年度比92.7%となった。しかしながら「震災まなびの案内」の実施に係る数少ない受入団体であることや、震災の教訓を次の世代に継承し、風化させないためにも本団体の存在は重要であり、今後も研修の実施により質の高い案内を提供し、参加人数の増加に取り組むこととしたい。 なお、本団体の利用にあたっては、いしのみき元氣いちばを集合場所としており被災地を訪問された方々は、土産等で地場産品を購入されており、本団体の取組により間接的に地域産業復興の一助ともなっている。																
（単位：円）																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源												
	500,000	500,000			500,000													

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画		
	1 項	商工費				第 節	
	4 目	東日本大震災関係費				()	
実施計画掲載ページ			中 事 業	商工業復興対策費			
事業コード			事 業 名	観光交流施設（かわまち公共施設）整備事業 〔復興交付金〕〔復興基金〕			
目的及び事業内容		「いしのみき元氣いちば」と「かわまち交流センター」からなる観光交流施設を核として、基幹産業である農林水産業の振興や街なかの商業の賑わい創出、交流人口の増加に向けた中心市街地の活性化に資することを目的に「かわまち交流拠点整備事業」を推進する。 具体的な事業内容として、「かわまち立体駐車場・バス駐車場」及び「かわまち交流センター」の整備を実施する。					
取 組 実 績		1 「かわまち立体駐車場・バス駐車場」の整備 ※平成28年度～平成29年度継続事業 (1) 平成29年度 委託料14,400千円、工事請負費306,411千円 (2) 平成28年度・平成29年度（継続費） 委託料7,200千円、工事請負費179,430千円 (3) 平成28年度（繰越明許費） 需用費（消耗品費）4千円、用地購入費299,934千円 2 「かわまち交流センター」の整備 ※平成29年度～平成30年度継続事業 (1) 平成29年度 工事請負費254,470千円 (2) 平成30年度 需用費（消耗品費）602千円、委託料10,260千円、工事請負費268,348千円、備品購入費11,784千円					
成 果		1 平成28年度から平成29年度の2ヶ年の継続事業として、「かわまち立体駐車場・バス駐車場」整備事業を実施し、平成29年11月に完成（供用開始）した。 本駐車場は普通車219台・大型バス5台を収容し、中心市街地に來街する市民や観光客等の受入態勢が整った。 2 平成29年度から平成30年度の2ヶ年の継続事業として、「かわまち交流センター」整備事業を実施し、平成30年9月に完成（供用開始）した。 また、「かわまち立体駐車場・バス駐車場」、「かわまち交流センター」、「かわまち交通広場（平成30年10月供用開始）」の3施設については、平成30年9月から一般社団法人石巻観光協会を指定管理者として指定し、当協会が管理運営中（平成30年8月までは市直営）。					
成果に係る評価		平成30年9月に「かわまち交流センター」が完成し、当初の目的を達成することが出来た。今後は、本事業により生まれた「かわまちエリア」の賑わいを中心市街地全体へ波及させていく必要がある。					
（単位：円）							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源	
	385,790,000	290,994,080			213,712,080	77,282,000	

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(4)	未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる																										
	1 項	商工費		第 節		(2)	企業誘致と新産業の創出																										
	4 目	東日本大震災関係費		()		(1)	産業の活性化と新産業の育成																										
実施計画掲載ページ		P211	中 事 業		企業育成支援事業費																												
事業コード		004-201-003-00931	事 業 名		企業育成支援事業〔復興基金〕																												
目的及び事業内容		市内既存企業及び進出企業に対して、新たな産業の創出及び雇用促進の効果が期待できる事業として取り組む人材育成、研究開発、情報提供、業務支援の各事業への助成金交付を行うことにより、本市の産業振興と雇用の拡大を図る。																															
取 組 実 績		<p>「石巻市産業創造助成金」の交付</p> <p>1 人材育成事業 市内企業の新分野進出等を図るため、従業員の資質・技術力向上のための研修等の費用に助成金を交付するものであるが、平成30年度は当該助成金の申請がなかった。</p> <p>2 研究開発事業 市内事業者の地域資源の活用、産学連携を図るため、研究開発（共同研究）の費用に助成金を交付するものであるが、平成30年度は2件総額500万円の助成金交付を行った。</p> <p>3 情報提供事業 市内事業者の販路拡大等を図るため、商品見本市、展示商談会等の出店等の費用に助成金を交付するものであるが、平成30年度は1件74,749円の助成金交付を行った。</p> <p>4 業務支援事業 市内事業者の高度化等を図るため、特許取得等の費用に助成金を交付するものであるが、平成30年度は当該助成金の申請がなかった。</p>																															
成 果		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率等</th> </tr> <tr> <th>目標値（件数）</th> <th>実績等（件数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>9 件</td> <td>1 件</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>9 件</td> <td>4 件</td> <td>44%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>9 件</td> <td>1 件</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>6 件</td> <td>0 件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>6 件</td> <td>3 件</td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	成果指標		達成率等	目標値（件数）	実績等（件数）	H26	9 件	1 件	11%	H27	9 件	4 件	44%	H28	9 件	1 件	11%	H29	6 件	0 件	0%	H30	6 件	3 件	50%
区分	成果指標		達成率等																														
	目標値（件数）	実績等（件数）																															
H26	9 件	1 件	11%																														
H27	9 件	4 件	44%																														
H28	9 件	1 件	11%																														
H29	6 件	0 件	0%																														
H30	6 件	3 件	50%																														
成果に係る評価		平成30年度の本事業については、3件の補助申請があり、交付を行った。 令和元年度より、要件緩和や申請手法の簡略化等を含め、助成内容を見直す要綱改正を行い、事業者及び石巻の産業の高度化を図る。 本市の産業の復興には、新たな産業の創出が不可欠であり、雇用の維持・促進にも繋がることから、今後も本事業を積極的に推進していく必要がある。																															
（単位：円）																																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源																											
	5,074,749	5,074,749			5,074,749																												

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	()											
	1 項	商工費		第 節		()											
	4 目	東日本大震災関係費		()		()											
実施計画掲載ページ			中 事 業		サイクルツーリズム推進事業費												
事業コード			事 業 名		サイクルツーリズム推進事業〔復興基金〕〔地方創生〕												
目的及び事業内容		ツール・ド・東北杜鹿半島チャレンジグループライド開催に係る運営委託業務と、同大会を活用した通年型サイクルツーリズムの推進に向けた案内板等の整備事業の実施。															
取 組 実 績		<p>○ツール・ド・東北 杜鹿半島チャレンジグループライド開催 開催年月日：平成30年9月15日（土） 参加人数：200名 コース概要：石巻専修大学発～女川町内～コバルトライン～鮎川～サン・ファンパーク～市内～石巻専修大学着（総延長：約100km）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>エイドステーション名</th> <th>受入対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>御番所公園</td> <td>休憩・給水ポイント</td> </tr> <tr> <td>おしか番屋</td> <td>くじら焼き定食の提供、語り部対応</td> </tr> <tr> <td>旧萩浜支所</td> <td>給水・語り部対応</td> </tr> <tr> <td>サンファンパーク</td> <td>軽食の提供、語り部対応</td> </tr> </tbody> </table> <p>○サイクルツーリズム推進事業 かなん・ものう内陸コースを新規に設定し、常設案内板を20基整備した。 ○自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会加盟 平成30年11月15日に設立された同会に加盟</p>						エイドステーション名	受入対応	御番所公園	休憩・給水ポイント	おしか番屋	くじら焼き定食の提供、語り部対応	旧萩浜支所	給水・語り部対応	サンファンパーク	軽食の提供、語り部対応
エイドステーション名	受入対応																
御番所公園	休憩・給水ポイント																
おしか番屋	くじら焼き定食の提供、語り部対応																
旧萩浜支所	給水・語り部対応																
サンファンパーク	軽食の提供、語り部対応																
成 果		<p>○ツール・ド・東北 杜鹿半島チャレンジグループライド開催 ・大会参加者 200人 ・萩浜、サンファンパークの両エイドステーションで語り部対応を実施し、被災地とライダーの橋渡しを行うことや、杜鹿地域の伝統料理である、くじら焼き定食の提供により、捕鯨のまち杜鹿と石巻の食をPRすることができた。</p> <p>○サイクルツーリズム推進事業 市内内陸部に「かなん・ものうコース」を設定し、市内全域におけるライダーの周遊性を図る。 ・常設案内板：20基設置 ・地域事業者の協力のもと、コース上に17箇所のサイクルステーション（H30年度末）を設置し、ライダーの休憩・給水ポイント等を確保した。</p> <p>○自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会加盟 ・自転車を活用した取組で志を同じくする首長が連携し、健康、生きがい、友情を育む自転車新文化の普及拡大を図ることにより、地方創生の先進的、先駆的な取組みを行う。 令和元年6月19日現在 343自治体加盟</p>															
成果に係る評価		・ツール・ド・東北としての杜鹿半島チャレンジグループライドは平成28年度～30年度までの3年間の開催であり、令和元年度からは後継イベントとして、（一社）石巻圏観光推進機構に委託し、市主催のサイクルイベントを開催する。ツール・ド・東北を通して定着しつつあるサイクルツーリズムの機運が高まっていることから、今後も自転車を活用したサイクルツーリズムの推進を図る。															
（単位：円）																	
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳														
			国（県）支出金	地方債	その他	一般財源											
	8,039,600	8,039,600	4,014,000		1,145,600	2,880,000											

予算科目	7 款	商工費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる
	1 項	商工費		第 節		(1)	海とともに生きる
	4 目	東日本大震災関係費		()		(4)	商業の再建復興
実施計画掲載ページ	P194		中 事 業	企業立地等促進事業費			
事業コード	003-104-001-01092		事 業 名	リボンアートフェスティバル開催支援事業〔復興基金〕			
目的及び事業内容	市内中心部及び牡鹿半島を主会場として「地域振興／復興につながる循環」をテーマに開催される「アート」・「音楽」・「食」の総合芸術祭「Reborn-Art Festival」の開催支援を行うことで、交流人口を拡大する。						
取組実績	<p>平成30年8月4日から9月2日までの毎週末、「Reborn-Art Festival 2019」のイベントとして「TRANSIT! Reborn-Art 2018」が開催された。</p> <p>1 アート部門 Reborn-Art Festival 2017で展示された名和晃平氏のWhite Deer (Oshika) を再展示したほか、小林武史氏による音楽のインスタレーションやバルコキノシタ氏の新作などを荻浜地区の牡鹿ビレッジに展示した。</p> <p>2 音楽部門 牡鹿ビレッジや、旧荻浜小学校体育館などで、音楽ライブを実施した他、中瀬公園にて「リボンまつり」を開催した。</p> <p>3 食部門 Reborn-Art DINING における“牡鹿の鹿をいただく”を始めとしたさまざまなイベントを通して、トップシェフや専門家、地域の料理人、生産者がコラボレーションを行い、地域における食の可能性を探り、食に関する技や知識を深めた。 また、牡鹿ビレッジの「はまさいさい」では、浜のお母さんたちと交流を楽しみながら地域の食材をいただける「浜の食堂」を営んだ。</p>						
成 果	<p>平成30年度は、第2回本祭「Reborn-Art Festival 2019」のイベントとして「TRANSIT! Reborn-Art 2018」が開催され、会期中の各イベント延べ来場者数は8千人を超えた。 最終日に行われた「リボンまつり」では、平成30年3月に設立された「Reborn-Art Festival 石巻実行委員会」がイベント運営等で中心的な役割を担い、地元の事業者等が主体的に関わることができた。 なお、七十七リサーチ&コンサルティング株式会社が試算した結果、「TRANSIT! Reborn-Art 2018」の開催によって1.57億円の経済波及効果があった。</p>						
成果に係る評価	<p>「TRANSIT! Reborn-Art 2018」はイベントとして小規模に開催されたこともあり、延べ来場者数については8千人に留まったが、新しく組織された「Reborn-Art Festival 石巻実行委員会」が新しく関わったことで、前年の本祭以上に地元の方が積極的に関わることができた。 令和元年度については、第2回目の本祭となる「Reborn-Art Festival 2019」が開催され、「いのちのてざわり」をメインテーマに、持続可能な地域を目指した活動が展開されていくことになっており、引き続き交流人口の拡大と地域振興に資するため、その開催を支援していく必要がある。</p>						
(単位:円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,476,000	3,476,000			3,476,000		

予算科目	7 11 款	商工費 災害復旧費	総合計画	第 章	復興計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる						
	1 4 項	商工費 その他公共施設・公用施設災害復旧費		第 節		(4)	地域資源を活かす						
	4 1 目	東日本大震災関係費 その他公共施設災害復旧費		()		(1)	観光業・施設の再生復興						
実施計画掲載ページ	P199		中 事 業	雄勝地区観光施設整備事業費 伝統産業会館災害復旧費									
事業コード	003-401-001-00458		事 業 名	雄勝地区観光施設整備事業〔復興交付金〕									
目的及び事業内容	<p>雄勝地域は、太平洋に臨む水産漁業の町として栄え、中心部地区では、インフォメーションセンターや雄勝硯伝統産業会館などが設置され、地域の歴史、文化、産業等をPRする観光拠点であったが、東日本大震災により、壊滅的な被害を受け観光・商業の機能が失われる状況となった。 このため、震災復興事業として雄勝中心部地区に賑わいを創出し、地域復興の核となる観光物産交流施設を整備し、観光客と市民との交流の促進及び地域の活性化を図るとともに、雄勝硯伝統産業会館の災害復旧を実施し、雄勝石を用いた雄勝地区の伝統工芸や産業の継承、観光産業の復興を図るもの。</p>												
取組実績	<p>雄勝地区観光施設整備及び伝統産業会館災害復旧として、下記事業を実施した。</p> <p>1 観光物産交流施設整備事業 (7款1項4目 雄勝地区観光施設整備事業費)</p> <p>(1)実施設計業務 一式 (2)施設建設工事 一式</p> <p>2 雄勝硯伝統産業会館災害復旧事業 (11款4項1目 伝統産業会館災害復旧費)</p> <p>(1)実施設計業務 一式 (2)展示実施設計業務 一式 (3)災害復旧工事 一式</p>												
成 果	<p>雄勝地区の拠点施設である観光物産交流施設整備及び雄勝硯伝統産業会館災害復旧に伴う実施設計が完了し、各施設の建設工事に着手するなど、拠点施設整備事業を推進することができた。</p> <p>■ H30年度末事業進捗率</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光物産交流施設建設工事</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>雄勝硯伝統産業会館災害復旧工事</td> <td>7%</td> </tr> </tbody> </table>							工事名称	事業進捗率	観光物産交流施設建設工事	17%	雄勝硯伝統産業会館災害復旧工事	7%
工事名称	事業進捗率												
観光物産交流施設建設工事	17%												
雄勝硯伝統産業会館災害復旧工事	7%												
成果に係る評価	<p>各施工業者や関係部署等により構成される調整会議を定期的実施するなど、関係機関との連携により、工事完成に向けた事業の進捗が図られた。 また、拠点エリア内において、県道や防潮堤等の宮城県による復興事業や盛土工事等の基盤整備工事が同時に進められており、事業進捗に伴う工事調整が必要不可欠であることから、引き続き施工業者や関係部署及び関係団体と連携し、計画的な進捗管理を行っていく。</p>												
(単位:円)													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
	148,175,764	76,279,160			32,969,000	43,310,160							

予算科目	7 11 款	商工費 災害復旧費	総合 計画	第 章	復興 計画	(3)	自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる						
	1 4 項	商工費 その他公共施設・公用施設 災害復旧費		第 節		(4)	地域資源を活かす						
	4 1 目	東日本大震災関係費 その他公共施設災害復旧費		()		(1)	観光業・施設の再生復興						
実施計画 掲載ページ	P200		中 事 業	鮎川地区観光施設整備事業費 おしかホエールランド災害復旧費									
事業コード	003-401-003-00459		事 業 名	鮎川地区観光施設整備事業〔復興交付金〕									
目的及び事業内容	<p>牡鹿地域の商業と観光の中心であった鮎川地区は、東日本大震災により、おしかホエールランドをはじめ周辺の飲食店や観光土産店、航路事業所などが被災し、拠点としての機能が失われる状況となった。</p> <p>このため、商業と観光の振興、来訪者と市民との交流の促進及び地域特産品を提供し、地域の活性化を図ることを目的として「観光物産交流施設」を整備するとともに、捕鯨の歴史文化を発信する施設として、復興のシンボルとなる「おしかホエールランド」の災害復旧を実施し、鮎川地区の観光産業の復興を図るもの。</p>												
取組実績	<p>鮎川地区観光施設整備及びおしかホエールランド災害復旧として、下記事業を実施した。</p> <p>また、施設の管理運営に関して、「牡鹿地域拠点エリア条例」を平成30年12月に制定し、平成31年3月「一般社団法人鮎川まちづくり協会」を指定管理者に指定した。</p> <p>1 観光物産交流施設整備事業 (7款1項4目 鮎川地区観光施設整備事業費)</p> <p>(1) 実施設計業務 一式</p> <p>(2) 地質調査業務 一式</p> <p>(3) 施設建設工事 一式</p> <p>2 おしかホエールランド災害復旧事業 (11款4項1目 おしかホエールランド災害復旧費)</p> <p>(1) 実施設計業務 一式</p> <p>(2) 展示実施設計業務 一式</p> <p>(3) 災害復旧工事 一式</p>												
成 果	<p>鮎川浜地区の拠点施設である観光物産交流施設整備及びおしかホエールランド災害復旧に伴う実施設計が完了し、各施設の建設工事に着手するなど、拠点施設整備事業を推進することができた。</p> <p>■ H30年度末事業進捗率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光物産交流施設建設工事</td> <td>42%</td> </tr> <tr> <td>おしかホエールランド災害復旧工事</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table>							工事名称	事業進捗率	観光物産交流施設建設工事	42%	おしかホエールランド災害復旧工事	3%
工事名称	事業進捗率												
観光物産交流施設建設工事	42%												
おしかホエールランド災害復旧工事	3%												
成果に係る評価	<p>施工業者や関係部署等により構成される調整会議を定期的を実施するなど、関係機関との連携により、工事完成に向けた事業の進捗が図られた。</p> <p>また、拠点エリア内において、県道や防潮堤等の宮城県による復興事業や盛土工事等の基盤整備工事が同時に進められており、事業進捗に伴う工事調整が必要不可欠であることから、引き続き施工業者や関係部署及び関係団体と連携し、計画的な進捗管理を行っていく。</p>												
予算の執行状況	(単位：円)												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
301,076,428	276,030,540			161,676,000	114,354,540								